

吉賀町子ども読書活動 推進計画

ふるさとでの読書活動体験をもとにして、人生をより深く生きる力を
身につける子どもの育成



平成28年11月

吉賀町教育委員会

目 次

I	吉賀町子ども読書活動推進計画策定にあたって	
	1. 計画策定の背景	1
	2. 子ども読書の現状と課題	
	3. 基本理念・基本方針・基本目標	2
	4. 計画期間	3
	5. 計画の全体構造	
II	施策の展開	
	1. 子どもと本をつなぐ活動の充実を図る	4
	(1)家庭での取り組みの充実	
	① 就学前の読書の習慣化	
	② 本にふれる機会の充実	
	(2)地域での取り組みの充実	
	① 町立図書館の取り組みの充実	
	② 公民館、子育てサロン等の取り組みの充実	
	(3)学校等での取り組みの充実	
	① 保育所の取り組みの充実	
	② 小中学校の取り組みの推進	5
	2. 子ども読書を支える人材を育てる	
	(1)図書館への人材配置	
	① 町立図書館専門的職員の拡充	
	② 学校図書館職員等の配置	
	(2)人材育成のための研修の実施	
	① 町立図書館司書・学校司書・学校図書館支援員の研修の実施	6
	3. 子ども読書を推進する環境を整える	
	(1)町立図書館・分館の整備、充実	
	①施設・備品の整備	
	②ネットワークの強化	
	③広報・啓発活動	
	(2)学校図書館の整備、充実	7
	①図書館資料の充実	
	②学校図書館備品の充実	
	数値目標一覧表	8
	○参考資料	9

I 吉賀町子ども読書活動推進計画策定にあたって

1 計画策定の背景

平成 13 年に策定された「子どもの読書活動の推進に関する法律」では、第2条(基本理念)で、子どもの読書活動を「子どもが、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、想像力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身につけていく上で欠くことのできないものである」と位置づけ、「自主的に読書活動を行うことができるよう、「環境の整備が推進されなければならない」と定義しています。東日本大震災などを経験した後、読書活動は子どもが未来をたくましく切り開くための活力の源となることが改めて認識されています。

国においては、平成 14 年には「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」(第1次基本計画)が公表され、続いて平成 20 年には第2次基本計画、平成 25 年には第3次基本計画が定められました。島根県においても平成 16 年に「島根県子ども読書活動推進計画」が策定され、平成 21 年には第2次計画、平成 26 年には第3次計画が策定されました。

これらの動きを踏まえ、吉賀町では、平成 25 年に社会教育委員の会において、吉賀町における子どもの読書の現状を把握するために、町内小学校2年、4年、6年、中学2年とその保護者にアンケートを実施しました。その結果をもとに、社会教育委員の会で議論を重ね、平成 26 年2月には吉賀町教育委員会に対して、18項目にわたる提言、「吉賀町における子ども読書活動推進のための提言書」が提出されました。その後、平成 28 年3月に策定した「吉賀町教育振興計画」において、読書普及・図書館活動の充実や読書習慣の定着化をめざし、「子ども読書活動推進計画」の策定を掲げました。

このことから、今回「吉賀町子ども読書活動推進計画」を策定し、この計画をもとに今後5年間、子ども読書活動を推進していきます。

2 子ども読書の現状と課題

(1) アンケート調査から

- ① 読書が好きな小中学生が 66%いる。
- ② 読書をしていない児童・生徒のうち「読書がきらい」と回答したものが半数近くいる。
- ③ 読みたい本の入手は、学校図書館、町立図書館、町立図書館の移動図書館車という回答が 70%を超えている。
- ④ 町立図書館の利用は周辺の子どものほとんどで、町立図書館と学校との連携により利用できる方策を検討する必要がある。
- ⑤ 「子どもが小さいころに読み聞かせをしていた、今もしている」と回答した保護者は8割近くいる。このことから、読み聞かせは家庭において定着してきている。
- ⑥ 家庭での読み聞かせの時間がなくなると、家族で読書を意識した取組みは減少していく。
- ⑦ 今後本を読むきっかけづくりに、司書などの専門的職員の役割が重要となる。

(2) 人員配置、施設整備について

- ① 学校図書館への学校司書の配置は、小学校2校、中学校1校にそれぞれ1名ずつにとどまっており、今後、全校配置に向けて取り組む。

- ② 学校図書館資料の整備は、平成 26 年度、27 年度各校 20 万円、28 年度から5年間を各校 30 万円の予算で整備していく。
- ③ 学校により、利用しやすい図書館とそうでない図書館の差が大きい。全学校への学校司書や図書館支援員の配置と、レベルアップのための研修が必要である。
- ④ 学校での読書ボランティアや、公民館での子ども読書会などの取組みがあるが、ボランティア活動の拡大を図る必要がある。
- ⑤ 町立図書館は、館長、司書、主事が各1名で、今後、読書普及活動の中心組織として人員体制を整備することにより、各機関、団体のネットワークをつなぐことが期待される。

3 基本理念・基本方針・重点目標

吉賀町は、教育振興計画のなかで、活力ある学校づくりや地域づくりの基本理念として「ふるさとでの学びや体験をもとにした、明日の吉賀町を支える人材の育成」を掲げました。このことは、吉賀町の学校教育・社会教育が何を目指して行われるかについて明確に示しました。

この基本理念を受け、「子ども読書活動推進計画」では、吉賀町の子どもたちが、「言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、想像力を豊かなものにする」ために、子ども読書活動の基本理念を以下のように掲げます。

「ふるさとでの読書活動体験をもとにして、人生をより深く生きる力を身につける子どもの育成」

ここでいう「ふるさとでの読書活動体験」とは、家庭・地域・保育所や学校等で行われる子どもと本をつなぐ直接的な読書活動や、本とふれあえる図書環境の整備、さらに、子どもと本をつなぐ役割を担う専門的職員など人材の配置や育成などあらゆる面で取り組むことをいいます。特に、町立図書館を子ども読書活動の中心的な役割を担う「読書センター」として位置づけ、人材育成や環境整備を重点的に図るとともに、そこに多くの地域住民に関わってもらおう仕組みをつくることで成果が期待できます。

この観点から、「読書活動」、「人材育成」、「環境整備」の三本の柱を基本方針とし、それぞれ重点目標を掲げ、「人生をより深く生きる力を身につける子どもの育成」をめざします。

【基本方針と重点目標】

- 1 子どもと本をつなぐ活動の充実を図る
 - (1) 家庭での取り組みの充実
 - (2) 地域での取り組みの充実
 - (3) 学校等での取り組みの充実
- 2 子ども読書を支える人材を育てる
 - (1) 図書館への人材配置
 - (2) 人材育成のための研修の実施
- 3 子ども読書を推進する環境を整える
 - (1) 町立図書館・分館の整備、充実

(2) 学校図書館の整備、充実

4 計画期間

平成28年度から平成32年度までの5年間とします。

5 計画の全体構造

基本理念	基本方針	重点目標	具体的施策
ふるさとでの読書活動体験をもとにして 入生をより深く生きる力を身につける子どもの育成	1 子どもと本をつなぐ活動の充実を図る	(1)家庭での取り組みの充実	①就学前の読書の習慣化 ②本にふれる機会の充実
		(2)地域での取り組みの充実	①町立図書館の取り組みの充実 ②公民館、子育てサロン等の取り組みの充実
		(3)学校等での取り組みの充実	①保育所の取り組みの充実 ②小中学校の取り組みの推進
	2 子ども読書を支える人材を育てる	(1)図書館への人材配置	①町立図書館専門的職員の拡充 ②学校図書館職員等の配置
		(2)人材育成のための研修の実施	①町立図書館司書・学校司書・学校図書館支援員の研修の実施
	3 子ども読書を推進する環境を整える	(1)町立図書館・分館の整備、充実	①施設・備品の整備 ②ネットワークの強化 ③広報・啓発活動
		(2)学校図書館の整備、充実	①図書館資料の充実 ②学校図書館備品の充実

Ⅱ 施策の展開

1. 子どもと本をつなぐ活動の充実を図る

乳幼児期に布団の中で読んでもらった絵本に、じっと聞き入る子どもの顔は期待にわくわくしながら輝いています。親子読書を進めることにより、言葉を学び、表現力を高め、想像力を豊かにするだけでなく、親に愛されているという気持ちを育み、自己肯定感を育んでいきます。今後、子どもたちが本にふれる機会を充実させるために、町立図書館の活用や家庭での読書活動の啓発に取り組みます。

町立図書館では、図書館職員やボランティアによる読み聞かせなどの活動を定期的に行い、子どもが本と出会い読書の楽しさを知る中心的な機関としての役割を果たすように取り組みます。さらに、子どもたちにとって身近な社会教育施設である公民館では、読書ボランティアと連携しながら読書普及活動を充実させていきます。

また、保育所では保護者の協力を得ながら、絵本の活用を図り、小中学校では学校全体で読書活動を推進するとともに、学習活動に役立つような学校図書館づくりを推進します。

(1) 家庭での取組みの充実

①就学前の読書の習慣化

- ・バースデイブック事業等との連携による親子読書(読み聞かせ)の習慣化

②本にふれる機会の充実

- ・「休日には家族で図書館に行こう運動」の推進
- ・「メディアへの適切な接触」を図るひとつの方法として家族読書の推進

(2) 地域での取組みの充実

① 町立図書館の取組みの充実

- ・ボランティア等による読み聞かせや、作家による講演会等休日にあわせた取組みの充実
- ・子ども向け特集コーナーの充実
- ・団体貸出や移動図書館車(BM車「みたい号」)の活用推進
- ・レファレンスサービスの充実
- ・長期休暇を利用した「図書館バス」運行の検討
- ・絵本・読書活動等の情報提供の実施
- ・「読書ボランティア育成講座」などの開催を通じた読書普及活動に携わる人材の育成

② 公民館、子育てサロン等の取組みの充実

- ・子ども読書活動等の実施、充実
- ・読書ボランティアとの連携
- ・地域活動としての民話の掘り起こしと継承

(3) 学校等での取組みの充実

① 保育所の取組みの充実

- ・絵本に親しむ機会の拡充
- ・職員、ボランティアによる読み聞かせの拡大
- ・家庭と連携した積極的な絵本の貸し出しの推進

② 小中学校の取り組みの推進

- ・学校図書館を活用した継続的な読書活動の推進
- ・アウトメディアの取り組みと関連付けた読書活動の推進
- ・ブックトークの実施
- ・図書館活用授業等の推進

【数値目標】

数値目標の項目	現況値 (H27)	目標値 (H32)
(1)家庭での取り組みの充実 ・「親子や兄弟と一緒に読書をする」肯定的回答の割合の 10%増【測定方法】アンケートの実施:教委	36.5% (H25)	40.1%
(2)地域での取り組みの充実 ・読書ボランティア育成講座などの人材育成研修の開催 【測定方法】研修実施回数:図書館	0回(年間)	2回(年間)
(3)学校等での取り組みの充実 ・図書館活用授業などの推進 【測定方法】学校図書館を活用した 公開授業実施回数:学校	各校 0回(年間)	各校 1回(年間)

2. 子ども読書を支える人材を育てる

公共図書館や学校図書館を運営していくうえで、人材の配置と資質の向上は欠かすことのできない条件です。町立図書館には専門的職員(司書または司書補)の増員を図り、学校図書館には全小学校に学校司書の配置をすすめるとともに、人材育成のために研修機会の充実を図っていきます。また、読書普及活動を進めていくためには、本に対する思いをしっかりと持っていなければ前に進みませんが、この思いを育てるために、ボランティア育成のための研修を実施します。

(1) 図書館への人材配置

- ① 町立図書館専門的職員の拡充
 - ・司書または司書補の増員
- ② 学校図書館職員等の配置
 - ・全小学校への学校司書の配置
 - ・学校図書館支援員の充実
 - ・各小中学校へ司書教諭配置の推進

(2) 人材育成のための研修の実施

- ① 町立図書館司書・学校司書・学校図書館支援員の研修の実施
 - ・町立図書館司書と学校司書との情報の共有
 - ・県立図書館が行う研修への派遣

【数値目標】

数値目標の項目	現況値 (H27)	目標値 (H32)
(1) 図書館への人材配置 ・司書又は司書補の増員 【測定方法】: 教委	職員1名	職員2名
(2) 人材育成のための研修の実施 ・司書・学校図書館司書・学校図書館支援員等の研修会の開催 【測定方法】研修会実施回数: 教委	0回(年間)	2回(年間)

3. 子ども読書を推進する環境を整える

子どもが読書活動を身近に感じることができ、実際に体験することができる環境がそろって初めて「人生をより深く生きる力を身につける子ども」に育ちます。この環境を整備するのは、行政はもちろん、さまざまな機関が協力する必要があります。今後、町立図書館の充実や分館の整備についての検討を行うと同時に、学校図書館の整備、充実をあわせて図り、本や図書館が身近にある環境の整備に努めます。

(1) 町立図書館・分館の整備、充実

① 施設・備品の整備

- ・移動図書館車(BM車「みたい号」)の更新と利用対象者の拡大検討
- ・町立図書館分館の検討
- ・図書館資料の充実

② ネットワークの強化

- ・県立図書館との連携の強化
- ・他市町村図書館との連携の強化
- ・他機関との連携の強化

③ 広報・啓発活動

- ・町広報への図書館だよりの継続掲載
- ・「子ども読書の日」(4月23日)の取組みと啓発

(2) 学校図書館の整備、充実

① 図書館資料の充実

② 学校図書館備品の充実

【数値目標】

数値目標の項目	現況値 (H27)	目標値 (H32)
(1)町立図書館・分館の整備、充実 ・町立図書館分館の検討 【測定方法】検討会の開催回数:教委	0回	検討済
(2)学校図書館の整備、充実 ・図書館資料の充実 【測定方法】資料数調査:教委	小学校 20,284 冊 中学校 13,080 冊	小学校 22,280 冊 中学校 21,760 冊

数値目標一覧表

数値目標の項目	現況値 (H27)	目標値 (H32)
1. 子どもと本をつなぐ活動の充実を図る		
(1)家庭での取り組みの充実 ・「親子や兄弟と一緒に読書をする」肯定的回答の割合の 10%増【測定方法】アンケートの実施:教委	36.5% (H25)	40.1%
(2)地域での取り組みの充実 ・読書ボランティア育成講座などの人材育成研修の開催 【測定方法】研修実施回数:図書館	0回(年間)	2回(年間)
(3)学校等での取り組みの充実 ・図書館活用授業などの推進 【測定方法】学校図書館を活用した 公開授業実施回数:学校	各校 0回(年間)	各校 1回(年間)
2. 子ども読書を支える人材を育てる		
(1)図書館への人材配置 ・司書又は司書補の増員 【測定方法】:教委	1名	2名
(2)人材育成のための研修の実施 ・司書・学校図書館司書・学校図書館支援員等の研修会 の開催 【測定方法】研修会実施回数:教委	0回(年間)	2回(年間)
3. 子ども読書を推進する環境を整える		
(1)町立図書館・分館の整備、充実 ・町立図書館分館の検討 【測定方法】検討会の開催回数:教委	0回	検討済
(2)学校図書館の整備、充実 ・図書館資料の充実 【測定方法】資料数調査:教委	小学校 20,284 冊 中学校 13,080 冊	小学校 22,280 冊 中学校 21,760 冊

【参考資料 1】

児童・生徒の読書についてのアンケート結果

◇ 調査の概要◇

1 調査の目的

子ども読書活動推進の取り組みをおこなうにあたり、子どもの読書活動の実態や意見、また保護者の読書に対する思いや意見などを把握し、基礎資料として役立てることを目的とする。

2 調査の方法

町内の全小学校2年、4年、6年、全中学校の2年に調査協力を依頼し、各学校を通じて各家庭に配布、回収をしていただいた。（平成25年7月17日締切）

◆ 回答者 159人の子どもと保護者 回収率 82.8%

小学校2年 39人（回収率84.7%）

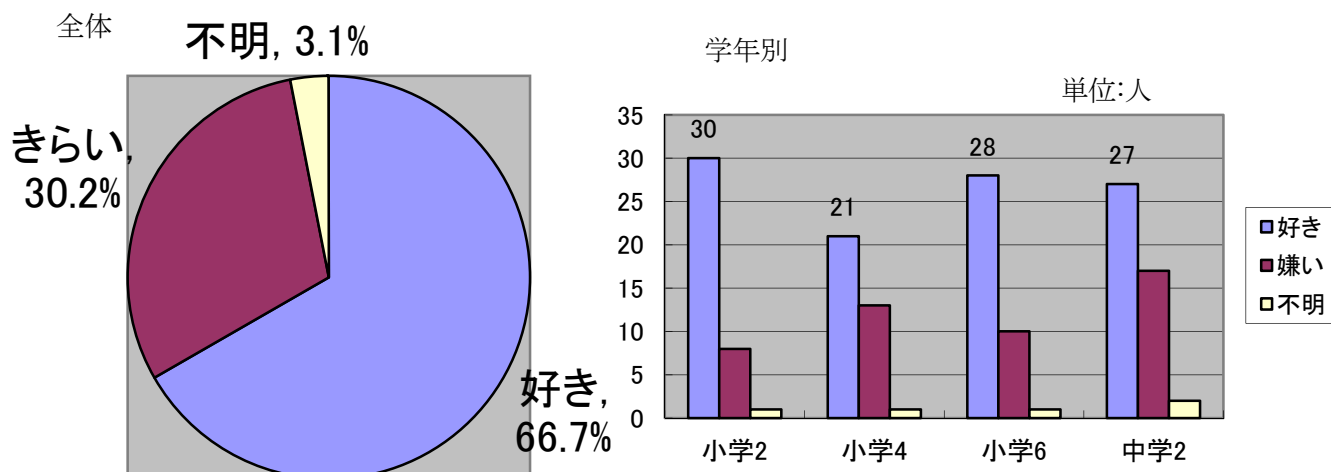
小学校4年 35人（回収率89.7%）

小学校6年 39人（回収率79.5%）

中学校2年 46人（回収率79.3%）

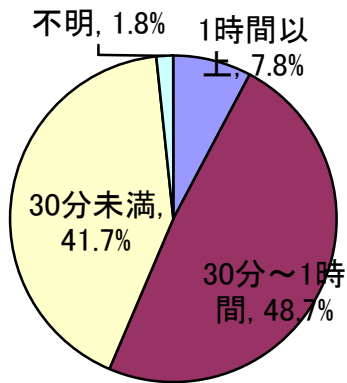
◇ 調査結果

お子さんは読書が好きですか



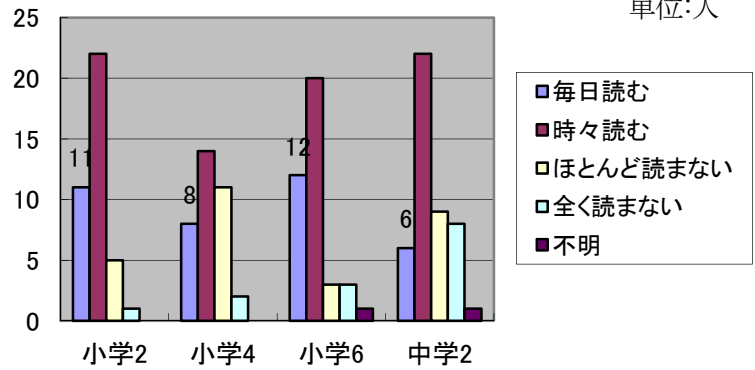
家庭でどのくらい読書をしていますか

全体



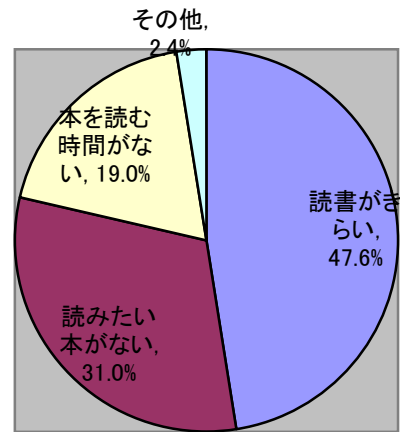
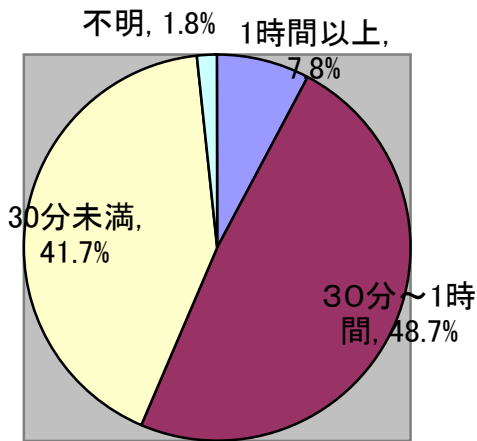
学年別

単位:人



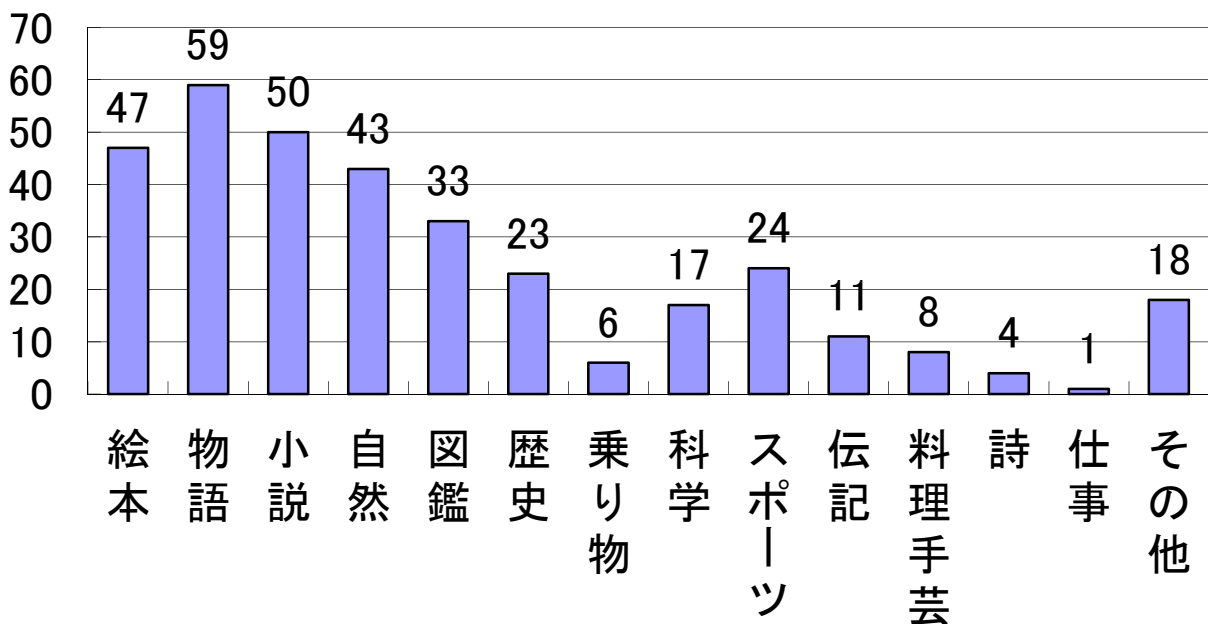
上記で毎日読む、時々読むと答えた方は1日にどのくらい読みますか？

上記でほとんど読まない、まったく読まないと答えた方は、理由は何ですか？



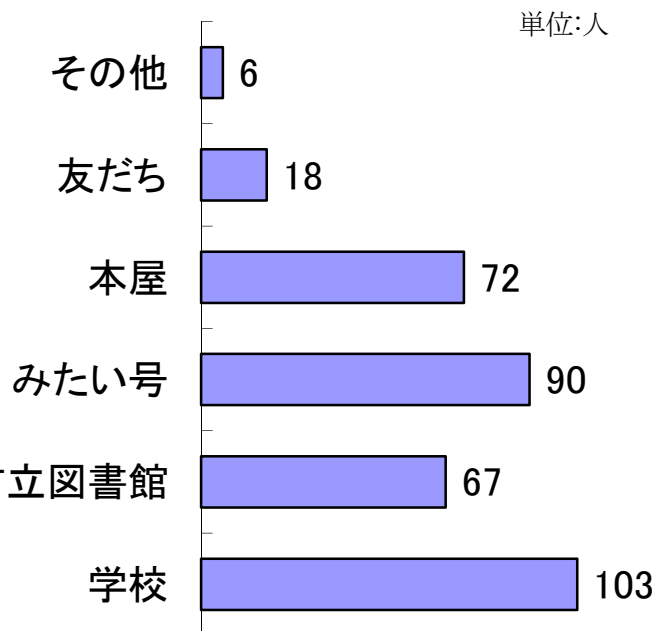
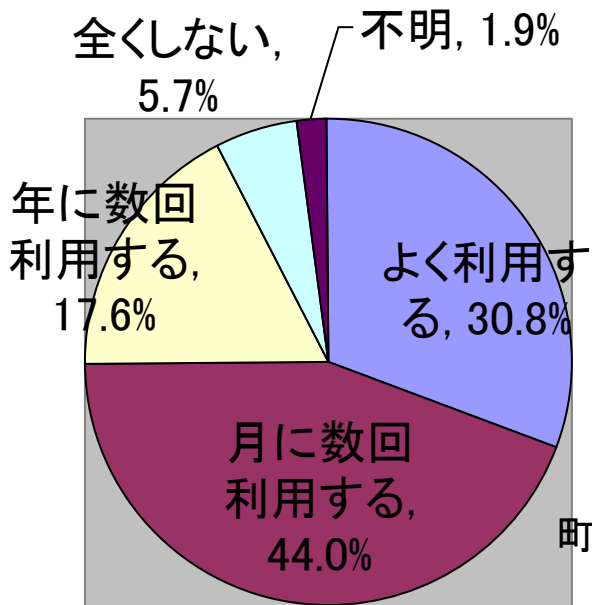
どんな種類(分野)の本が好きですか(複数回答)

単位:人



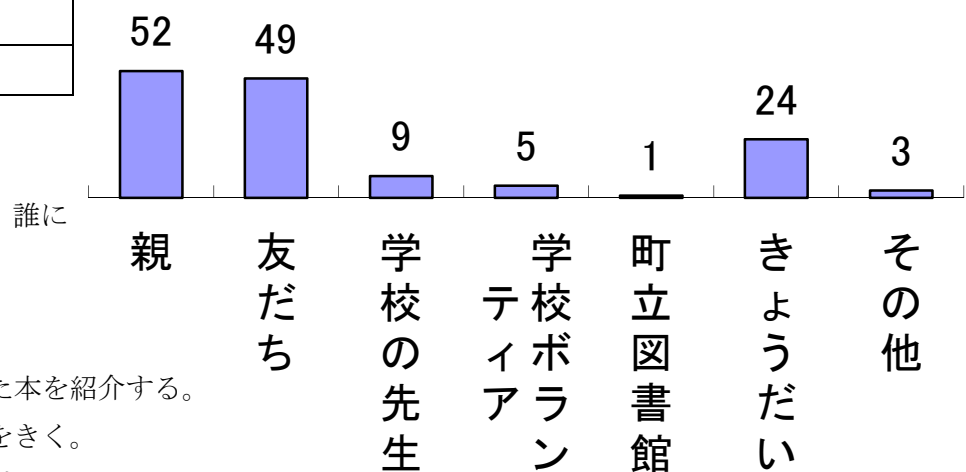
学校の図書室や吉賀町立図書館、みたい号をどの程度利用しますか

どのようにしてみたい本を用意しますか？
(複数回答)



本のことについて相談したり話をしたりする人がいますか。またそれは誰ですか。また、どんな内容ですか？

いる	81人
いない	66人
不明	12

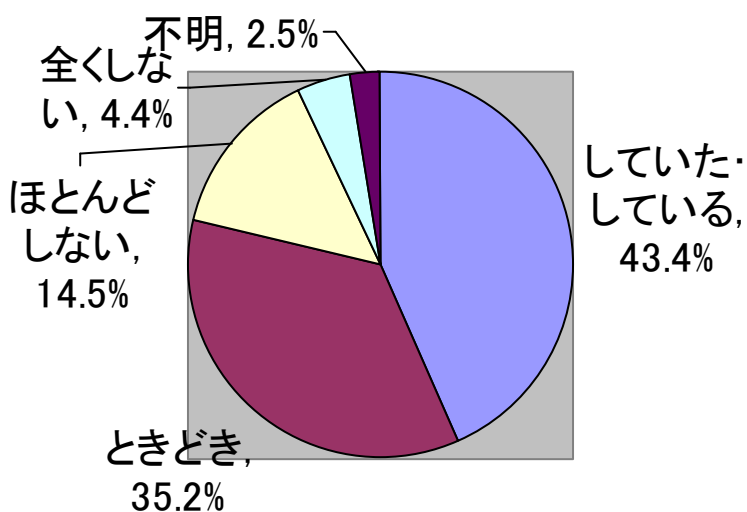
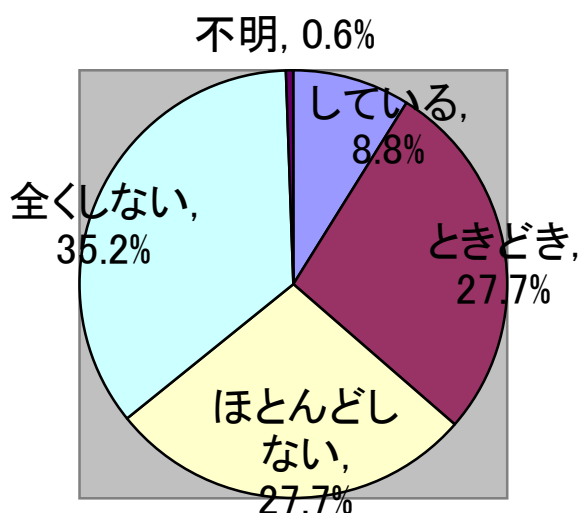


内容

- ・ おもしろかった本を紹介する。
- ・ おすすめの本をきく。
- ・ 本の感想を話す。

現在、親子やきょうだいでいっしょに読書
をしますか

おこさんが小さい頃、読み聞かせをよくし
ていましたか。または今もしていますか



保護者への質問：子どもにとって読書は大事だと思いますか？その理由は何ですか

思う	151名
思わない	3名
不明	5名

思う理由

集中する時間や空想をする時間はすごく大事だと思うから
想像力がつく

知りたいと思ったら本で調べるとい習慣がついてほしい

文章理解力や漢字を覚えることが身につくと思う

いろいろなことを学べる

知らないことをたくさん知ることができる

いろいろなことに興味を持てるようになったり、想像する力がつくのではないかと思う

想像力がゆたかになる、言語力がつく

本がいろいろな体験をさせてくれるから

知識、想像力が身につく

理解力や想像力が豊かになると思う

想像力も膨らむと思うし、考える力もつくと思う

テレビなどだと勝手に流れているがほんだとおもしろいところ、疑問のところでも自分の時間でもう一度読んだり考えたりできる

全部において必要だと思う

情操教育、文字に興味を持ち早く読めるようになる、心を落ち着かせることができる

相手の立場に立って考えられる、文章の作り方が覚えられる 感情が豊かになる 色々な考え方ができるようになる

知識がふえる、本を通じていろいろな体験ができる

想像力がつく、国語力がつく

感受性が豊かになる、文章力、知識が得られる
物の見方、考え方が養われる 選択肢が増える、漢字も覚える。
勉強や色々なことがわかるから
本から色々なことが学べる、漢字を覚える
見たり聞いたり、心が育つ。集中力がつく、気持ちが落ち着く
早くみにつくこと(覚えも早く)
たくさんのことを学び、考えることができ、語彙を増やせる
本の世界からいろんなことを学び考えてほしい
テレビなどでも小さい頃から本の読み聞かせなど良いといっているので
いろいろな世界感を知ることが出来る
体験できないことを知ることが出来る
知識・想像の世界が広がり、生きていく上で役立つ
いろいろな知識を知る
文章の理解、語彙が増える
書き言葉と話し言葉の違いが分かる 想像力がつく 知識が身につく
想像力が身につく 文字に触れることができる 考える力がつく
物語の仲で自分とは違う生き方や場所に行ったりできるから 知らないことを知ることが出来る
から
一冊の本との出会いで人生は変わる
語学力が身につくから
想像力が豊かになる
想像力を養う
いろいろな気持ちが分かり、考えが出来るようになります
現実では体験できないことが本を通して経験できる
想像力がついたり字もたくさん覚える
色々な知識が得られるから
豊かな心を養うことが出来るから
ものの見方、考え方が養われる 選択肢が増える。漢字が身につく
様々な本の世界に浸って心を豊かにすることが出来る 知識も得られる
想像力が身につく
想像力を養う 心の栄養 知識が増える。親子のコミュニケーション
学力アップ 知識向上 漢字の勉強になる
小さい頃からの読書の積み重ねで、文章を理解する力や想像力などがつくと思うから
知識の拡大
いろいろな知識が得られるから
表現の豊かさを身に付ける
発想力や読解力がつくなど
国語が好きになってくれるような気がします。本を読むことでいろいろな知識などが入ってくると
思うので

どんなジャンル例えばマンガでも本から知識を得ることはたくさんあるし、イメージを膨らませたりもできる。心の育ちに大切と思う
気持ちを育てる上で一番のよい効果を生むものだと思う
文章の理解力が身につくと思う
いろいろな考え方を学ぶことができる
知識を深められる、多様な考え方を学べる
字を覚えたり内容理解
知識も豊富になり、作文や感想文など書けるようになると思う
いろいろな世界や考え方があることが知れるから
文章の読解能力の育成に役立つ
感情が豊かになる 人生の指針となる
自分が読書していなかったので読書をすればよかったと思うから
読書をする事によって想像豊かになれたり、言葉にもふれたり出来ると思います
文章を読解する力がつく。人生が楽しくなる。知識が増える。
想像力豊かな、心豊かな子どもに育つ
感じやいろいろ知ること。
いろいろな言葉や感じもよく知ることができるから
読書をする事によって記憶力や思考力があがると思う
メディアは良くないから いろんな力が身につく
幅広い知識を得る 言語活動の充実。想像力を豊かにする
心が豊かになると思う
学力向上につながる、知識向上、漢字の勉強になる
人の話をきくことができるようになる、想像力がつく
いろいろな考え方ができるようになる、楽しい時間が過ごせる
想像力を養う、心の栄養、知識がふえる、親子のコミュニケーション
知らないことがわかったり、知識や想像力が広がるから
想像力、文章力が養われるから
字になれ、読む力がつく
本を読むことで物語を理解する力がつく
字がよめないうちは、こちらが読むことで内容についての想像力が高まるから、又はコミュニケーションを深める
想像力がつく、物事を解決するときなどの道筋(ヒント)となる
想像力が養われ、思考力の幅が広がる
テレビのように受身で時間をつぶすものではなく、読書は想像力、空想力など人の心を育てるものだから
読んで理解する力
自然に字にふれられる、文章がみにつきやすい
どこでも静かに時間をつぶせるから
本を通していろいろな体験ができるから

知識がふえる、想像力が広がる
 読む力、考える力、想像力を養い、自己の世界を広げることができる
 言葉の発達に必要、親子のコミュニケーション
 実際に見せてあげられなかったり体験できないことが空想で体験でき、考える力になっていると思う
 作文や感想文を書くのに大事だと思う
 じをよむことで字を覚えるので必要
 いろいろな感情がもてる、楽しい時間がすごせる
 いろいろな考え方を学べる
 人が書いた思いや周りの出来事がわかったりしてかんじることがある
 漢字やひらがなを実で追ってすらすら読める力がつく
 感情もはいるので、しっかり頭に残るものだと思う
 理解力が深まり、全ての学習の基本だと思う

読書や図書館に関して日頃思っていることなどありますか

どんな本を読んだらいいのか分からない	12人
本を借りる時間がない	33人
図書館や図書室に読みたい本がたくさんあってうれしい	35人
読みたい本の探し方がわからない	16人

その他

図書館が遠いため、気軽に行けない
 見たい号が学校や保育所以外にも来てくれたらよいのにとおもいます。赤ちゃんがいるので、子どもの本をかりられればうれしい、大人の本ももうすこし読書をする時間が取れるといい、とってやりたい
 まだ好きなジャンルが固まっていないので、たくさん本にふれたい
 いろいろな分野の本を読んでほしいが、そのきっかけを与えることができない
 もう少し図書館の本の紹介コーナーとか工夫をしておもしろそう、読んでみたいと思えるようにしてほしい
 希望の本をリクエスト箱で投函できるようにしてほしい
 読みたい分野の本が少ない
 もっとたくさん種類の本があればいいなと思う
 町内には大きな本屋さんがないのが残念だなと思う
 図書館を利用する人がすくない
 読みたいと思う本がない
 町立図書館になくとも県立図書館など問い合わせしてくれ探していただけるのがありがたい
 夏などは飲み物が飲める場所があっても良いと思います
 町立図書館は古い本が多く、借りても汚れていたり壊れていたりすることもある 新刊の入荷も少ない

本当におすすめの本が少ない

みたい号で本がより身近に感じることが出来る

六日市図書館までの距離が気軽に行けない

日中仕事をしているために借りにいけない 開いていれば夕方など利用できるのにと残念に思っています

図書室にはたくさん本があるので本を選ぶ楽しみもあります。

日中はなかなか借りれないので夕方～夜間まで開いているとうれしいのと思う(利用しやすい)

中学生は忙しい毎日だし、小学生は遊ぶので忙しいのでなかなか…。本を読むという状況にはならない

もっと新しい本を入れてほしい

読みたい本が図書室にない

もう少し遅くまで開いてほしい。平日に利用したい(学校のあとなど)

図書館に行って本を借りたいが、行く時間がない

もっと自宅の近くにあってほしい。本の種類が少ない

【参考資料2】 アンケート調査票

平成25年7月10日

吉賀町内小学校2・4・6年生の保護者様
中学校2年生の保護者様

吉賀町教育委員会
吉賀町社会教育委員の会

児童・生徒の読書についてのアンケート

保護者のみなさまには、吉賀町教育行政にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

さて、吉賀町教育委員会と吉賀町社会教育委員の会では子どもの読書活動推進の取り組みをおこなっていかうと考えています。つきましては、お子さんの様子について下記のアンケート(裏面もあり)にご協力くださいますようお願い申し上げます。なお、お子さんとお話をしながら、ご記入いただければと思います。

締切は、7月17日とします。各学校の担任の先生に提出してください。

アンケート

- 1 お子さんは、読書が好きですか。 ・好き ・きらい
- 2 お子さんは家庭でどのくらい読書をしていますか。
ア・毎日読む イ・ときどき読む
ウ・ほとんど読まない エ・全く読まない
- 3 2でアまたはイと答えた方は1日にどのくらいよみますか。
・1時間以上 ・30分～1時間 ・30分未満
- 4 2でウまたはエと答えた方は、理由は何ですか。
・読書がきらい ・読みたい本がない ・本を読む時間がない
・その他 ()
- 5 お子さんはどんな種類(分野)の本が好きですか(複数回答)。
・絵本 ・物語 ・小説 ・自然(動物・植物・昆虫・宇宙など)
・図鑑 ・歴史 ・乗り物 ・科学 ・スポーツ ・伝記 ・料理手芸
・詩 ・仕事 ・その他 ()
- 6 お子さんは学校の図書室や吉賀町立図書館、みたい号をどの程度利用しますか。
・よく利用している ・月に数回 ・年に数回 ・全く利用しない

(裏面に続きます)

- 7 どのようにして読みたい本を用意しますか(複数回答可)。
- ・ 学校で借りる ・ 町立図書館で借りる ・ みたい号でかりる
 - ・ 本屋で買う ・ 友達にかりる
 - ・ その他 ()
- 8 本のことについて、相談したり話をしたりする人がいますか。またそれはだれに、どんな内容を相談しますか。
- ・ いる→・ 誰ですか(複数回答可) 親 友だち 学校の先生
学校のボランティアさん 町立図書館の人
きょうだい その他 ()
 - ・ 内容 ()
 - ・ いない
- 9 現在、親子やきょうだいで一緒に読書をしますか(家で読み聞かせの時間や家族そろって読書をする時間があるなど)。
- ・ している ・ ときどきしている
 - ・ ほとんどしていない ・ 全くしていない
- 10 お子さんに小さい頃、読み聞かせをよくしていましたか。または今もよく読み聞かせをしていますか。
- ・ していた ・ ときどきしていた
 - ・ ほとんどしなかった ・ 全くしなかった
- 11 保護者の方に質問です。子どもにとって読書は大事だと思いますか。またその理由は何ですか。
- ・ 思う ・ 思わない
 - ・ その理由 ()
- 12 読書や図書館に関して日頃思っていることなどありますか(複数回答可)。
- ・ どんな本を読んだらいいのかわからない ・ 本を借りる時間がない
 - ・ 図書館や図書室に読みたい本がたくさんあってうれしい
 - ・ 読みたい本の探し方がわからない
 - ・ その他 ()
 - ・ ない

ありがとうございました。学校へ提出をお願いします。